



平成30年12月7日

鳥取市長 深澤 義彦 様

気高地域振興会議

会長 池長 綾子



浜村温泉館の早期再開に関する意見について

鳥取市地域振興会議条例 第3条第1項第3号の規定により、気高地域の振興に関し、気高地域振興会議の総意として、別紙のとおり意見書を提出いたします。

浜村温泉館の早期再開に関する意見書

気高地域では現在、「まちの玄関口である浜村駅の利便性向上と安心安全なまちづくり、交流人口の拡大を通して民謡「貝がら節」をはじめとする歴史・文化や自然を継承し、地域の宝である浜村温泉を活かした誰もが住みたくなるまち」を目指し、都市再生整備計画事業（平成28年度～平成32年度）が進められています。

また、「浜村温泉館」休館の問題では、地域住民と鳥取市との協議の場として「浜村温泉館のあり方検討会」をもち、鳥取市と地域代表をメンバーに10回に亘り「浜村温泉館のあり方・再生」に向けた検討を重ねて、平成30年3月第10回（最終会議）にて「浜村温泉館 再生プラン（グランドデザイン）」が取りまとめられました。

平成30年6月、地区自治会・地域住民の方等の参加を得て「『浜村温泉館再生』報告会・意見交換会」が開催され、参加者からも「経過報告・再生プラン内容もよかった（8割）、温泉館の早期再開を望む」等の意見が多く出されました。

「浜村温泉館あり方検討会」を受けて、平成30年4月 地域主体の新しい組織体制・『浜村温泉館再生事業会社(仮称)』設立準備委員会が立上げられ、事業会社の「事業運営計画・収支5ヶ年計画」等の具体案が策定され、浜村温泉館の事業を担う体制が整ってきました。

気高地域の地域振興において、鳥取市新市域振興ビジョン「交流のまちづくり」を実現するためにも「浜村温泉館」再開は最重要課題と考えます。「鳥取西道路全線開通および道の駅『西いなば・気楽里』」開業のこの機を逃すことなく、浜村温泉街への誘客・地域活性化の核となる「浜村温泉館」の早期再開への取り組みをさらに支援していただきますよう、気高地域振興会議の総意として要望いたします。